

音楽Iテスト	世界の諸民族の音楽		教科書 『MOUSA 1』	P.104 世界の諸民族の音楽		
	氏名		得点	/50点	評価	

① 「声による表現」について、ア～カの説明に当てはまる諸民族の音楽を下から選び書きなさい。

(各2点=12点)

- アリラン オルティンドー ブルガリアの女声合唱
 アーヴァーズ ヨーデル ゴスペル
- ア 伴奏には、セタールやサントゥール、ネイなどがよく用いられる。
 イ 多くは3拍子の拍節によっており、カヤグムで弾き歌いすることも多い。
 ウ 白人の教会音楽とアフリカ特有のリズムや音階などが融合して成立した。
 エ 「長い歌」を意味し、決まった拍節はなく装飾音を多用するのが特徴である。
 オ 牧童たちの連絡手段や精霊への祈りとして歌われたといわれている。
 カ 地声で歌われ、旋律には細かい装飾的な動きが付けられる。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	

② 「楽器による表現」について、次の問いに答えなさい。

(各1点=12点)

1) ア～カの弦楽器の説明に当てはまる楽器名と、それが主に使用されている国名を、それぞれ下から選び書きなさい。

楽器名：アルファー サウン・ガウ シタール
 ツィター バラライカ ウード

国名：オーストリア インド ロシア イラクなど ミャンマー 中国

- ア 弓形のハープで、現在は16弦のものが使われている。
 イ 5本のメロディー弦と30本以上の伴奏弦をもち、音域は6オクターヴに及ぶ。
 ウ 胴はひょうたんなどの実でつくられ、フレットの外側と内側に弦が張られている。
 エ 中東から北アフリカのアラブ圏を中心に広く使われている弦楽器。
 オ 木製の銅に蛇皮を張った2弦の楽器。
 カ 三角形の木製の胴で、3本の弦とフレットをもつ。

	楽器名	国
ア		
イ		
ウ		
エ		
オ		
カ		

2) 管楽器について、正しい文になるように () に当てはまる言葉を下から選び、書き入れなさい。(各2点=14点)

ヨーロッパ ケーン アンデス 風箱 ドローン 西アジア 尺八 伴奏

- ア バグパイプには、旋律の基本となる一定の音高を鳴らし続ける () 管が取り付けられている。
 イ ケーンの各管にはリードが付いていて、中間には吹き口の付いた () がある。
 ウ ズルナは、() を起源とするダブル・リードの木管楽器である。
 エ ケーンは、旋律と () の両方を同時に演奏することができる。
 オ ケーナは () 地方の縦笛で、発音の仕組みは () と共通している。
 カ トルコの「メヘテルハーネ」の奏でる音楽は、() の作曲家にも影響を与えた。

3) 打楽器について、正しい文になるように () の中から1つ選び、○で囲みなさい。(各2点=12点)

- ア スティールパンは、(ドラム缶 空き瓶) を音階の音が出せるよう加工した楽器である。
 イ ガムランは、(木管 金属) 打楽器を中心としたアンサンブルである。
 ウ バラフォンは、西アフリカ一帯にみられる (木琴 鉄琴) の総称である。
 エ トーキング・ドラムで伝達できる言葉は、あらかじめ (決められている 決められていない) 。
 オ バラフォンの音を共鳴させるひょうたんは、音板の (上 下) に取り付けられている。
 カ ガムランは、バリ島やジャワ島など (インドネシア インド) 各地で行われている。